

会報『SHEPHERD』7-8月号 記載間違いのお詫び

会報『SHEPHERD』7-8月号におきまして、日本訓練ジューガー競技会「短評」に掲載された全犬の両親犬が違っておりました。作成段階で日本訓練ジューガー競技会目録の出場番号順に記載された両親犬のデータを誤用してしまっており、校正段階で事務局の確認が足りず、そのまま入稿してしまった事が原因です。

所有者様、ならびに指導手、訓練所の皆様には多大なご不快とご迷惑をお掛け致しまして、誠に申し訳ございません。

訂正につきまして、次号会報『SHEPHERD』9-10月号にて正しい短評を改めて掲載させていただきます。

また、JSV ホームページにも正しい短評を掲載致します。

以後このような事が無いよう、事務局一同確認の徹底に努め、十分に注意してまいりますので、今後ともご指導の程よろしくお願い申し上げます。

展 覧 会 ・ 競 技 会 報 告

2019年・第76回 日本訓練ジューガー競技会・短評

と き ● 令和元年 5月18日(土)・19日(日)

と ころ ● 長野県諏訪市郊外 霧ヶ峰高原

主 催 ● 公益社団法人 日本シェパード犬登録協会

【 審 査 担 当 】

	主 審	副 審
* 追求	澤田 まどか	
* 服従	斉藤 志津香	梅島 基平
* 防衛	後藤 宏行	

* 選別	後藤 宏行 有賀 彰一	
------	-------------	--

短評・牡組

ゼッケン 番号 26	評価 SG	席次 1	称号 訓練ジージャー	
犬名	追求	服従	防衛	総合得点
カルロ フォン デア ロープデブルク	92	96	95	283
父 ファント フォン デア ロープデブルク	母 ケッシー フォン デア トラオベナイヒェ			
(繁) Claudia Menzel	(所) 松本 浩	(指) 望月 利彦		

追求 慎重かつ意欲的にスタートし、第2コーナーまではほぼ完璧な作業であった。第3コース上
92 やや鼻を上げる。以降第3コーナー、第4コーナーで若干臭気線を使った。物品の指示は位置明確であるものの、第2,3物品において、物品を噛む仕草が見られた。

服従 <脚側行進・行進中の待座、伏臥、立止>脚側行進はやや指導手を押し気味であるも集中力、
96 表現力があり指導手とのコンビネーションが極めて良好である。待座・伏臥・立止作業は機敏に反応し、スピード感に溢れた招呼であった。<持来・障碍・斜壁>意欲的な作業でダンベル受け渡しから終了基本姿勢への流れはスムーズで確実な作業である。<前進・伏臥>前進意欲旺盛にして直線的でスピード感があり、指導手の指示に対する反応も良好であった。<休止>完全。

防衛 非常に高い性能の訓練犬。パトロールほぼ完璧、禁足咆哮もエネルギッシュ。追捕は素早く
95 捉えるがわずかに浅い。禁足から防衛も緊迫感に満ちているがわずかに浅い。背面護送は完全、奇襲への対処もタイトで機敏。遠距離攻撃は力強く制圧、わずかにみなおしあり、はなす際はもう少し早く。禁足から防衛は強く深い咬み、はなす際はもう少し早く明確にはなしたい。監視は注意深かった。本年ジージャーにふさわしい充実の防衛作業であった。

ゼッケン 番号 41	評価 SG	席次 2	称号 ジージャー Gr	
犬名	追求	服従	防衛	総合得点
オリヴァー フォン チバ エビハラソウ	91	97	94	282
父 カイ フォン ヨコハマ シゲリ	母 アールアグミー フォン S.K.リーベン			
(繁) 海老原 政昭	(所) 西村 外茂次	(指) 島田 薫		

追求 慎重にスタートし、深い鼻使いで作業意識の高い素晴らしい追求姿勢を見せる。第1コーナー
91 と第3コーナーを通過直後に若干臭気線を外したがその他はほぼ完璧。しかしながら第2物品未発見。他の物品指示は明確であっただけに非常に惜しまれた。

服従 <脚側行進・行進中の待座、伏臥、立止>脚側行進は意欲的で集中力ある作業であったが、
97 反転ターンがやや大きくなる。待座及び立止動作は素早く反応し良好な作業であったが、伏臥はより明確であると良い。<持来・障碍・斜壁>集中力ある作業であるも、欲を言えばあと一息活力を求める。<前進・伏臥>前進意欲旺盛にして直線的でスピード感があり、指導手の指示に対する反応も機敏で良好であった。<休止>完全。

防衛 防衛本能がほぼしる高い集中力の訓練犬。パトロールはタイトかつスピーディ、禁足咆哮
94 非常に支配的。追捕わずかに咬み直しあるが強く効果的。禁足から防衛、申し分なし。背面護送はより集中できる、奇襲への対処は素晴らしいがはなすときはより明確に。遠距離攻撃非常にエネルギッシュで強く効果的、咬みも硬いがはなす際はより明確に。禁足から防衛、強く支配的に咬む、しかしながらはなす際に余分な声符を必要とした。

ゼッケン
番号 40

評価 SG

席次 3

称号 ジーガー Gr

犬名	追求	服従	防衛	総合得点
ノルド オブ G.T.R	96.5	91	89	276.5
父 アレス フォン シュロス ライテン	母 マイト オブ G.T.R			
(繁) 島田 薫	(所) 西原 哲	(指) 武波 亨		

追求 意欲的にスタートし、全体的な作業態度は極めて優秀なものであった。第1コースと第2コース上で若干臭気線を外すところがあったが、第2コーナー以降は模範的な追求姿勢であった。第1物品の指示はさらに明確さが欲しい。第2、第3は明確だった。

服従 <脚側行進・行進中の待座、伏臥、立止>脚側行進は反転ターンがやや大きくなるも意欲旺盛で良好。待座・伏臥動作はより明確さを求める。<持来・障碍・斜壁>集中力ある作業であるも障碍復路にて接触が見られた。ダンベル受け渡しから終了基本姿勢への流れはやや集中力欠ける。<前進・伏臥>直線的でスピード感があり、指導手の指示に対する反応も機敏で大変良好であった。<休止>完全。

防衛 非常に高い能力を有する訓練犬。小回りで良いパトロール。禁足咆哮ほぼ完全、追捕申し分なし。禁足から防御咬みはよい、はなすのはもう少し早く。背面護送完全、奇襲への対処、斜めに入るがフルグリップで制圧、はなすときはより早く。監視に冷静さが欲しい。遠距離の待機状態もう少し落ち着き欲しい。エネルギーに咬む非常によい。禁足から防御、咬みは強く効果的、はなす際はもう少し早く、側面護送で冷静さを欠き余分な声符を要した。

ゼッケン
番号 6

評価 SG

席次 4

称号 ジーガー Gr

犬名	追求	服従	防衛	総合得点
ゲルモ フォン ツヴァイブルッケン	90	92	94	276
父 アクセル オブ ハウス アール エー	母 カフェ フォン デン ラプトーレン			
(繁) 吉村 泰範	(所) 古澤 小百合	(指) 安達 富三		

追求 慎重にスタートし、第1コースで若干臭気線を外した他はコース上での作業姿勢は非常に良好。但し、各コーナーでは顔を上げるなど少し不安定な作業となった。物品指示は第1、第3は明確であったが、第2物品は発見するそのまま通過した。確実性を求めたい。

服従 <脚側行進・行進中の待座、伏臥、立止>脚側行進は指導手を押し気味で、後半は集中力欠ける場面が見られた。待座・伏臥動作は指示に対する反応も良く招呼はスピード感があり、正面停座から終了基本姿勢への流れも明確な作業であった。<持来・障碍・斜壁>意欲的でスピード感あり良好な作業であるもダンベルの受け渡しは更にスムーズ性が望まれる。<前進・伏臥>前進意欲旺盛にして直線的でスピード感があり、指導手の指示に対する反応も機敏で良好であった。<休止>完全。

防衛 すばらしい稟性を有する犬。パトロール申し分なく禁足咆哮も迫力を備えている。追捕は素晴らしい。禁足から防御も質の高い作業だが冷静さを欠く。背面護送からの奇襲においては咬み直しがあつた。側面護送はヘルパーに集中したい。遠距離は直截に制圧、はなす際に安定を欠く。禁足から防御も咬みはよい、はなす前に不安定さを見せた。しかしながらそのあとの監視はエネルギーで特筆すべき素晴らしい、その後だけに側面は物足りなさがあつた。

ゼッケン
番号 36

評価 SG

席次 5

称号 ジーガー Gr

犬名		追求	服従	防衛	総合得点	
オラーフ フォン チバ エビハラソウ		95	94	87	276	
父	カイ フォン ヨコハマ シゲリ	母	アールアグミー フォン S.K. リーベン			
(繁)	海老原 政昭	(所)	海老原 政昭		(指)	武波 亨

追求 慎重に作業を開始し、非常に丁寧な集中力の持続する作業だった。第2コース、第4コース
95 で一瞬立ち止まる場面があった他はコーナー、コース上大きな問題無し。第2物品啜えたが
すぐ放した。物品発見後の再スタートは非常に明確で大変良かった。

服従 <脚側行進・行進中の待座、伏臥、立止>脚側行進は意欲的で指導手と息の合った作業である。
94 待座・伏臥動作は指示後やや動きが見受けられたがその後は安定した作業であった。<持来・
障碍・斜壁>往復路共に意欲的でスピード感ある確実な作業であり、ダンベル保持固く良好
な作業であった。<前進・伏臥>前進意欲旺盛にして直線的でスピード感があり、指導手の
指示に対する反応も良好であった。<休止>完全。

防衛 高い訓練性能を有する防衛犬。パトロールほぼ完全、禁足咆哮ヘルパーに絡んだ。追捕はエ
87 ネルギッシュで良い、咬み直しが有った。禁足から防衛はなすときはより明確に。背面護送
もう少し集中したい。奇襲への対処は速やかで良い、わずかに冷静を欠いた。大変素晴らしい
遠距離への対応、禁足から防衛ではわずかに冷静さを欠きまた余分な声符を要した。全体
に集中力が切れる箇所が散見され惜まれる。

ゼッケン
番号 19

評価 SG

席次 6

称号 ジーガー Gr

犬名		追求	服従	防衛	総合得点	
アポロン フォム ハウス ママ		94	86	95	275	
父	ダンガー アウス デア ケーニヒスホーレ	母	カラット フォン ナガノ テンリュウ			
(繁)	葛野 あつ子	(所)	葛野 あつ子		(指)	望月 利彦

追求 意欲的な鼻使いでスタートし、意識の高い良好な作業だった。第1,2,3コース上若干の鼻上
94 げがあった他は概ね問題無し。第3コーナー、第4コーナーやや臭気線を外した。第1物品
発見時指導手の声符1回有り。その他の物品指示は明確。

服従 <脚側行進・行進中の待座、伏臥、立止>脚側行進は意欲的ながらも安定感は今一息であった。
86 待座は立止となってしまうも、伏臥・立止は指示に対し機敏に反応する。正面停座から終了
基本姿勢における確実性は更に求める。<持来・障碍・斜壁>持来のスタート時やや出遅れ、
障碍において往路若干接触するも斜壁は確実な作業であった。ダンベル保持における力強さ
は更に望まれる。<前進・伏臥>意欲的にスタートするも、伏臥指示に対しての反応がやや
遅かった。<休止>中盤停座となるも伏せ直す。

防衛 高い集中力と縦横に走るエネルギーの塊のような訓練犬。パトロールのスタートは集中した
95 い。禁足咆哮、呼び戻しにより素早く反応するとよい。追捕、禁則から防衛、いずれもエネ
ルギッシュかつ質の高いグリップだがはなす際はより明確に。背面護送、そして奇襲への対
応は完璧。遠距離攻撃は貫禄の迫力、禁足から防衛に於いても素早く自信に満ち溢れた高い
完成度の作業を披露してくれた。

ゼッケン
番号 25

評価 SG

席次 7

称号 ジーガー Gr

犬名	追求	服従	防衛	総合得点
カール フォン デア フェルシュタントハイム	95	88	91	274
父 ラッキー フォン キョート マスダ	母 クセルマ フォン デア フェルシュタントハイム			
(繁) 堀内 壽子	(所) 飯塚 光子	(指) 阿利 直也		

追求 慎重にスタートし、全体的に安定した意識の高い作業だった。第1、第2コーナーでやや逡巡し、第4コース上僅かに鼻上げが見られた他はほぼ問題無し。第2物品の指示は非常に明確。コーナーにおける確実性が加われればさらに良い。

服従 <脚側行進・行進中の待座、伏臥、立止>脚側行進は意欲的であるも、反転ターンはやや離れ気味となり安定感に欠ける作業となる。対座・伏臥動作は指示に対しやや遅いが、招呼はスピード感があり良好であった。<持来・障害・斜壁>ダンベル保持はやや甘い、障害・斜壁は確実にクリアし良好であった。正面停座から終了基本姿勢における明確さは更に求めている。<前進・伏臥>直線的でスピード感があるも、伏臥指示に対する反応がやや遅かった。<休止>完全。

防衛 落ち着きと迫力を兼ね備えた訓練犬。パトロールはより集中を。禁足咆哮さらに注意深いとなおよい。追捕は申し分のない力強さ、禁足から防御もすばらしい。背面護送と奇襲への対処はほぼ完全で、遠距離攻撃は果敢に飛び込み力強く制圧した。しかしながら監視はさらに注意深く、もう少し近い距離で行いたい。禁足から防御は速やかに強く深くグリップを保持、はなす際はわずかに早かった。監視はより注意深く行いたい。

ゼッケン
番号 24

評価 G

席次 8

称号 Rジーガー Gr

犬名	追求	服従	防衛	総合得点
ホーク オブ S・ウイスタリア	84	91	87	262
父 ウンカール フォム カップ アルコナ	母 フリーダ オブ S・ウイスタリア			
(繁) 藤井 聡	(所) 中嶋 登	(指) 望月 利彦		

追求 意欲的にスタートし、第2コースまでは集中して臭気線を追う作業だったが、第2コーナー過ぎから集中力をやや欠く作業となり、顔を上げ気味で、第4コーナーはショートカット。粗い作業となった。物品の指示は明確で良好。

服従 <脚側行進・行進中の待座、伏臥、立止>脚側行進は指導手をやや押し気味であるも、意欲的な作業であった。待座が立止となってしまったのは惜まれる。伏臥・立止は指示に対する反応も迅速で、また招呼はスピード感があり良好であった。<持来・障害・斜壁>持来はダンベルを落とし声符重なる。障害では往復接触が見られるもその後は良好な作業であった。<前進・伏臥>前進意欲旺盛にして直線的でスピード感があり、指導手の指示に対する反応も良好であった。<休止>完全。

防衛 ひたむきに作業する質の高い訓練犬。パトロールほぼ完璧、禁足咆哮は少し注意が散った。追捕申し分なくしかし監視はより注意深くありたい。禁足から防御では注意が乱れた。背面護送は完璧、奇襲への対応も強く素早く非常に良い、監視はもう少し集中したい。遠距離はエネルギーで素晴らしい、禁足から防御では咬みがやや浅い、また監視はよりエネルギーに効果的に行いたい。

ゼッケン
番号 29

評価 G

席次 9

称号 Rジージャー Gr

犬名	追求	服従	防衛	総合得点
メインハルト フォン シコク イシツチソウ	89	85	88	262
父 アレキサンダー フォム ハウス ママ	母 ミネット オブ G.T.R			
(繁) 西原 哲	(所) 川端 啓子	(指) 武波 亨		

追求 慎重にスタートし、全体的に丁寧に作業に対する意識が高かった。第2コースまではほぼ問題無し。第3コースやや不安定になり、第4コース上で排便したが、集中は途切れていない。第2物品再スタートは指示より先に動いた。物品指示の明確性はさらに望みたい。

服従 <脚側行進・行進中の待座、伏臥、立止>脚側行進は意欲的ながらも停座はやや遅い。待座・伏臥・立止動作は指示に対し反応が遅いが招呼はスピード感があり良好であった。<持来・障碍・斜壁>ダンベルの保持甘く、障碍では往路接触が見られた。正面停座から終了基本姿勢における明確さは更に求めたい。<前進・伏臥>直線的でスピード感があるも伏臥の指示に対する反応は一息であった。<休止>中盤立止となるもその後伏せ直す。

防衛 非常に高い性能の犬。パトロール、テント小回りで良いが速度にややムラ。禁足咆哮良いがやや注意散漫。追捕は早く効果的に咬んだ。禁足から防衛は力強く硬く咬んだ、わずかに冷静さを欠き監視はもう少しの注意深さを。背面護送完璧、奇襲への対処は良いがやや浅い、またはなしたあと冷静さが欲しい。遠距離は力強く硬く制し監視も注意深い。禁足から防衛も強く咬んだしかし咬み直しが有った。時折服従性の部分で注意がそれたのが残念だった。

ゼッケン
番号 11

評価 G

席次 10

称号 Rジージャー Gr

犬名	追求	服従	防衛	総合得点
デリコ オブ ロジータ 51	89	90	77	256
父 ゼップ フォン ワイ エス イセサキ	母 アマンダ フォン ヨコハマ ローザ			
(繁) 南波大二郎	(所) 松本 智子	(指) 安達 富三		

追求 意欲的にスタートし、第1コーナーで僅かに臭気線を外した以外、第2コースまでは良好。しかしながら第2コーナー以降やや粗い作業となり、第4コーナーでは大きく臭気線を外した。物品の指示は明確で良い。

服従 <脚側行進・行進中の待座、伏臥、立止>意欲的な作業であったが、やや飛び跳ねるような脚側行進であった。待座・伏臥・立止は指示に対する反応も迅速で、また招呼はスピード感があり良好であったが、正面停座から終了基本姿勢における確実性は更に求めたい。<持来・障碍・斜壁>ダンベル保持はやや甘く、障碍ではダンベル受け渡しのスノーズ性に欠ける。ダンベルの保持及び作業に対する冷静さは更に求める。<前進・伏臥>直線的でスピード感があるも、伏臥指示に対する反応は遅い。<休止>完全。

防衛 才能ほとばしる訓練犬。パトロール非常に良い、禁足咆哮は位置良く支配的である、しかし声符にはより速やかに反応したい。追捕、禁足から防衛共にわずかに冷静さを欠くもきちんと課題をこなした。背面護送は集中しており奇襲には直ちに対処した。遠距離においては待機の際もう少し落ち着きたい。ヘルパーに果敢に向かうも取り落としてしまう、またその後集中を欠いた。禁足から防衛では力強く咬んだ。

ゼッケン
番号 23

評価 G

席次 11

称号 Rジガー Gr

犬名	追求	服従	防衛	総合得点
ハムレット オブ S・ウイスタリア	94	96	60	250
父 ウンカール フォム カップ アルコナ	母 フリーダ オブ S・ウイスタリア			
(繁) 藤井 聡	(所) 藤井 聡	(指) 久野 友嗣		

追求 意欲的にスタートし、直後やや躓いたものの、コース上は全般的に集中力のある良好な作業
94 であった。コーナーも概ね正確だったが、第4コーナーでやや大きく迷った。第2物品で声符が2回あり、物品位置も犬体横であった。明確性はさらに望まれる。

服従 <脚側行進・行進中の待座、伏臥、立止>脚側行進は意欲的で指導手と息の合った作業である。
96 待座・伏臥及び立止動作は指示に対する反応も良く招呼はスピード感があり、正面停座から終了基本姿勢への流れも明確な作業であった。<持来・障碍・斜壁>意欲的かつダンベル保持は堅固であるも、障碍では往復路共に接触してしまったのは惜まれる。<前進・伏臥>作業意欲旺盛で直線的かつスピード感があり、指導手の指示に対する反応も良好だった。<休止>完全。

防衛 意欲と服従性の調和が取れた犬。パトロール集中しているがわずかに速度にムラがあり。禁
60 足咆哮は素晴らしい。追捕はしっかり捉えたものの咬み直しがあつた。禁足から防御は果敢に啞えた、はなすときはより速やかに。背面護送は完璧、奇襲に対してはもう少し深く咬みたい。遠距離は意欲スピード感申し分ないが咬み直しがあつた。禁足から防御では注意が乱れはなさなかつたのは残念であった。

ゼッケン
番号 20

評価 G

席次 12

称号 Rジガー Gr

犬名	追求	服従	防衛	総合得点
カンツ フォン デア フェルシュタントハイム	86	78	80	244
父 ラッキー フォン キョート マスダ	母 クセルマ フォン デア フェルシュタントハイム			
(繁) 堀内 壽子	(所) 井上 敬博	(指) 阿利 直也		

追求 意欲的にスタートし、第2コース上で逡巡を見せた以外コースにおいてはまずは良好な作業
86 だった。しかしながら、各コーナーにおいて鼻を上げ、立ち止まる等臭気線を外し不安定な作業となった。物品の指示は明確。コーナーの確実性がさらに望まれる。

服従 <脚側行進・行進中の待座、伏臥、立止>終始やや集中力欠く作業であった。脚側行進では
78 反転ターン大きく指導手との密着性は一息で、群衆内において若干集中力欠く作業となった。待座は立止なるも、伏臥及び立止は確実な作業であった。正面停座から終了基本姿勢における明確さは更に求めたい。<持来・障碍・斜壁>意欲的にスタートするも復路はもう少しエネルギーでスピード感ある作業であると良い。ダンベル受け渡しから終了基本姿勢における明確さ、確実性は更に求めたい。<前進・伏臥>前進意欲旺盛にして直線的でスピード感があり、指導手の指示に対する反応も機敏であった。<休止>完全。

防衛 練度の高い訓練と才能に溢れる犬。パトロール集中していた、禁足咆哮も申し分ない。追捕
80 力強く禁足から防御も迫力ある作業。背面護送、そして奇襲いずれも適切かつエネルギーな処理でこなす。遠距離攻撃の待機場所で若干注意力がそれ、ヘルパー制圧したものの、咬み直しがあつた。はなす際はより速やかに。禁足から防御では集中力が途切れた。

ゼッケン
番号 33

評価 G

席次 13

称号 Rジガー Gr

犬名		追求	服従	防衛	総合得点	
アイヴァン オブ フォン ヴェリテ		78	83	82	243	
父	ユーラ ヤイト	母	フリーザ オブ ハッピー フラット			
(繁)	奥山 諒	(所)	山田 泰生		(指)	山田 泰生

追求 この日はスタート直後から落ち着きを欠き不安定な作業となった。第1コース大きく臭気線
78 を外し迷う。第2コースもやや不安定であったが、第2コーナー以降持ち直し、若干歩度が早くなったが完遂した。コーナーの確実性と物品の指示はさらに明確さが望まれる。

服従 <脚側行進・行進中の待座、伏臥、立止>意欲的な作業であったが、指導手をやや押し気味の
83 脚側行進となり、群衆内において若干集中力欠く作業となった。待座・伏臥・立止促す際、指導手はやや歩度を緩めての指示となるも招呼はスピード感があり良好であった。正面停座から終了基本姿勢への流れも明確な作業であった<持来・障碍・斜壁>ダンベル保持はやや甘く、障碍では往路接触が見られた。正面停座から終了基本姿勢における確実性は更に求める。<前進・伏臥>前進におけるスピード感及び方向性良好。伏臥指示に対しての反応は遅く重複声符となる。<休止>完全。

防衛 迫力ある訓練犬。パトロールわずかに大回り。禁足は位置、咆哮は連続性に留意されたい。
82 追捕は力強く効果的、監視はもう少し注意深く。禁足から防御、咬みは強く効果的だが瞬時の反応が望ましい。背面護送は完全、奇襲への対処はよし、話した後ヘルパーに絡んだ。遠距離攻撃はそつなくこなすがよりエネルギーに制圧したい。監視は良い。禁足から防御、より速やかに咬みたい。側面護送は非常に注意深くてよかった。

ゼッケン
番号 5

評価 G

席次 14

称号 Rジガー Gr

犬名		追求	服従	防衛	総合得点	
マルシャルク オブ アウトサイダー		65	84	91	240	
父	アレス フォン シュロス ライテン	母	ゼリン オブ アウトサイダー			
(繁)	池澤 清隆	(所)	谷口 利憲		(指)	大原 茂雄

追求 意欲的にスタートしたが、この日は全体的に集中力に欠けた作業となった。第1コースは前
65 半大きく迷走し、声符が使われた。以降も粗い作業が続ぎ、第3コースでも声符があった。物品指示の明確性はさらに望みたい。

服従 <脚側行進・行進中の待座、伏臥、立止>脚側行進は意欲的ながらもやや指導手を押し気味
84 傾向であり、群衆内においても集中力欠け指導手との密着性は一息であった。待座・伏臥を促す際、指導手はやや歩度を緩めての指示となるも、招呼はスピード感があり良好であった。<持来・障碍・斜壁>往復路共に意欲的でスピード感ある作業であったが、正面停座から終了基本姿勢における明確さ、確実性は更に求めたい。<前進・伏臥>作業意欲旺盛にしてスピード感もあり、伏臥の指示に対する反応も良好。<休止>完全。

防衛 才能ある訓練犬。パトロール巡回にわずかにムラがあり。禁足の位置は非常に良い、しかし
91 咆哮に更に連続性がほしい。追捕は集中してグリップする。禁足から防御に於いても咬みはよい。背面護送からの奇襲に対しても力強さを見せ、効果的である。遠距離からの2回の咬みは安定を欠く場面があるがわずかである。全体を通して片袖をはなした後ヘルパーへの集中が下がる傾向にあった。改善されればより高い質に到達し得ると感じた。

ゼッケン
番号 1

評価

席次 15

称号

犬名	追求	服従	防衛	総合得点
アドルフ フォン デアレルヒェ	69	83	87	239
父 フィル フォム ダスキント ゾンネ	母 カーレ フォン ヨコハマ シゲリ			
(繁) 木内 政雄	(所) 木内 政雄	(指) 安達 健		

追求 慎重に作業を開始し、第1コース前半はやや不安定な作業ながら、以降は持ち直し、第3コーナーまでは良好な追求姿勢を見せた。第3コーナーで大きく臭気線を外し、そのまま第4コーナーを逸脱し、中止となった。第1物品は位置が犬体横。明確さはさらに欲しい。

服従 <脚側行進・行進中の待座、伏臥、立止>脚側行進は意欲的ながらも指導手と離れ気味となる。待座は立止となり、伏臥は指示に対する反応がやや遅いが、立止動作及び招呼はスピード感があり良好であった。<持来・障害・斜壁>ダンベル持来は意欲的にスタートするも保持甘く、障害・斜壁はスピード感が一息であった。全般的に正面待座から終了基本姿勢への流れの明確性を求める。<前進・伏臥>前進における意欲及びスピード感は一息で、重複声符で伏臥する。<休止>完全。

防衛 作業全体に充実感を見せる訓練犬らしい牡。的確なパトロールだがより集中したい。禁足咆哮良いがさらに支配的であればなお良い。追捕は力強く禁足から防御は深く強い咬み。背面護送から奇襲の際若干アクシデントがあるも集中を欠かずに作業を続ける。遠距離は素早く効果的で、監視態度も申し分なかった。わずかに冷静さを欠く場面が少し見受けられた。

ゼッケン
番号 17

評価

席次 16

称号

犬名	追求	服従	防衛	総合得点
イアーゴ オブ S・ウイスタリア	90	88	60	238
父 アンディー オブ S・ウイスタリア	母 キティー フォム エーヴィヒ ヴイント			
(繁) 藤井 聡	(所) 後藤 幹郎	(指) 望月 利彦		

追求 意欲的にスタートし、第2コーナーでやや鼻を上げ膨らんだが、第4コースまでは集中力のある良好な作業だった。しかしながら第4コーナーで大きく逡巡し、迷う。その後は何とかコースに戻り完遂した。物品の指示は概ね明確。

服従 <脚側行進・行進中の待座、伏臥、立止>脚側行進は意欲的であるも、反転ターン時や大きくなる。群衆内においても集中力欠け指導手との密着性は一息であった。待座・伏臥動作は指示に対してやや遅く、立止は指示に対しての反応は良好であったが、やや集中力に欠ける。<持来・障害・斜壁>ダンベル保持やや甘く、全般に復路スピードがやや不足気味であったのは惜まれる。<前進・伏臥>作業意欲旺盛にしてスピード感も、伏臥の指示に対する反応がより明確であると良い。<休止>やや落ち着きに欠ける。

防衛 非常に質の高い訓練犬。パトロールより小回りで。禁足咆哮は集中するがもう少し連続的であるとよい。追捕申し分ないがわずかに咬み直し、禁足から防御においても集中して作業完遂するがわずかに冷静さを欠く。背面護送完全、奇襲へもしっかり対応する、はなすときやや早すぎた。遠距離攻撃においてエネルギーに飛び込み才能を知らしめたが中止は残念であった。

ゼッケン
番号 12

評価

席次 17

称号

犬名		追求	服従	防衛	総合得点	
ベッペ デッラ ヴェルジオーネ スポルティーヴァ		79	83	74	236	
父	ネルツ フォン ヨコハマ シゲリ	母	グナ フォン ヨコハマ シゲリ			
(繁)	芳村 深雪	(所)	池部 敏市		(指)	安達 健

追求 慎重にスタートしたが、第2コース中盤までは不安定な作業となった。第1コース中ほどより遡巡し、臭気線を外したまま進んだ。第2コーナーより持ち直し、以後最終コースでやや大きく臭気線を外したが完遂した。第1物品未発見。第2,3物品指示は良好。

服従 83 <脚側行進・行進中の待座、伏臥、立止>脚側行進は意欲的であるも、反転ターン時やや大きくなる。待座・伏臥動作は指示に対して反応も良く、招呼もスピード感があり良好であったが、立止が停座になってしまったのは惜まれる。<持来・障碍・斜壁>ダンベル持来は受渡し時のスムーズ性に欠け、障碍は往復接触が見受けられたが、斜壁は確実な作業であった。<前進・伏臥>前進意欲的であったが、伏臥指示に対する反応が遅く重複声符となった。<休止>完全。

防衛 74 シェパード犬らしい訓練犬。パトロールにはもう一つスピード感が欲しい。禁足の位置はよいが咆哮はより威圧を。追捕速やかなるもわずかに浅い。禁足から防御においてもより力強さを。背面護送は集中しており、奇襲への対処は適切。監視はもう少し注意深く。遠距離は勇敢に飛び込んだ、しかしながらはなしたあと注意が散漫であることにより防御が不適切となり残念だった。事後の監視は注意深くてよかった。

ゼッケン
番号 28

評価

席次 18

称号

犬名		追求	服従	防衛	総合得点	
エンディー オブ ストライン イケガミ		78	85	73	236	
父	ハド オブ シルクロード	母	バッド オブ ストライン イケガミ			
(繁)	池上 昇	(所)	池上 昇		(指)	池上 昇

追求 慎重にスタートしたが、この日は全体的に粗い作業となった。各コース上数回臭気線を外し、第2コーナーではやや大きく迷走した。第3コーナーも若干遡巡したが、完遂。第2物品の指示は不安定。最終物品の指示は良好。

服従 85 <脚側行進・行進中の待座、伏臥、立止>脚側行進は意欲的ながらも指導手と離れ気味となり、反転ターン時やや大きくなる。待座指示に対しての反応は迅速で良好な作業であるも、伏臥動作は指示に対してやや遅かった。立止を促す際、指導手はやや歩度を緩めての指示となるも招呼はスピード感があり良好であった。<持来・障碍・斜壁>ダンベル持来はやや落ち着きに欠け、保持が甘い。障碍往路は接触が見受けられるも斜壁は指示に対して良好な作業であった。<前進・伏臥>前進におけるスピード感は大変良好であったが、指示に対する明確さは更に求めたい。<休止>完全。

防衛 73 指導手と調和の良い犬。パトロール意欲的だが若干のムラ。禁足咆哮位置咆哮よし、呼び戻しに最短距離で帰着するもよし、但し反応はさらに早く。追捕よししかし咬み直しがあつた。禁則から防御力強く効果的だがより深く、監視の際に注意が散る。背面護送集中が欲しい。奇襲へは素早く対処、しかし監視は冷静に。遠距離は落ち着いて待機そしてスタートはエネルギッシュ、もう少し咬みが深いとなお良い。禁足から防御非常に質の高い咬み、余分な声符。

ゼッケン
番号 30

評価

席次 19

称号

犬名	追求	服従	防衛	総合得点
ネプチューン オブ アウトサイダー	70	89	68	227
父 アレス フォン シュロス ライテン	母 ホリー フォン シュテルン ヴィンター			
(繁) 池澤 清隆	(所) 小佐野 恵司	(指) 小佐野 恵司		

追求 意欲的にスタートし、コース上は若干臭気線を外す場面があったが、概ね良好な作業であった。
70 第2,3,4 コーナーでやや迷走したが完遂する。この日は、物品に対する集中力が全く見られず、第2物品は発見するも通過。惜しまれる。

服従 <脚側行進・行進中の待座、伏臥、立止>終始やや集中力欠く作業であった。脚側行進では
89 反転ターン大きく指導手との密着性は一息で、停座は遅めであった。待座・伏臥指示に対しての反応はやや遅く、立止はやや集中力欠く作業となった。招呼はスピード感があり良好であった。<持来・障碍・斜壁>ダンベルの保持甘く、復路はややスピード感が足りなかった。障碍・斜壁は確実に作業するも、よりエネルギーでスピード感ある作業であると良い。ダンベル受け渡しから終了基本姿勢における明確さ、確実性は更に求めたい。<前進・伏臥>前進におけるスピード感良好ながらも、指導手指示よりやや早く伏臥する。<休止>完全。

防衛 作業意欲あふれる犬。パトロールよりタイトに。禁足咆哮支配性充分。追捕はもう少し深く
68 咬みたい、はなすときは素早く明確に。禁足から防御素早く捉えるがグリップにもう一つ安定感を。背面護送は手堅く、奇襲については素早く効果的に対処、もう少し安定するとなお良い。監視は冷静に。遠距離、飛び込みは良い、さらに深く咬むとなお良い、はなすときはより早く。意欲的に行うが、監視以降注意力が途切れたのは残念だった。

ゼッケン
番号 35

評価

席次 20

称号

犬名	追求	服従	防衛	総合得点
ベルトルト フォム ザック	88	64	71	223
父 ウンカール フォム カップ アルコナ	母 ユッター オブ カガ ラブリー			
(繁) 江口 タミ子	(所) 山口 常夫	(指) 山口 常夫		

追求 慎重にスタートしたが第1物品手前でやや大きく臭気線を外す。第2コース上で立ち止まり、
88 声符が2回、若干の体符があった。その後は持ち直し、歩度がやや早まるものの大きなミス無く完遂した。物品指示は概ね良好。最終物品は犬体位置がやや横だった。

服従 <脚側行進・行進中の待座、伏臥、立止>脚側行進は終始やや集中力欠く作業であり、指導
64 手との密着性は一息で、停座は遅めであった。待座を促す際、指導手はやや歩度を緩めての指示となる。伏臥は指示に対しての反応がやや遅く、全般的によりエネルギーでスピード感ある作業であると良い。<持来・障碍・斜壁>ダンベル持来は復路スピードがやや不足気味であった。障碍で・斜壁では往復路共に未実施となったのは惜しまれる。正面停座から終了基本姿勢における確実性は更に求める。<前進・伏臥>前進における意欲及びスピード感は一息であった。<休止>伏臥指示後やや落ち着きに欠け、後半は停座で動かず。

防衛 才能の煌めき未だ有する犬。パトロール作業に乗り切れなかった。禁足咆哮は適正。追捕、
71 課題をそつなくこなす。禁足から防御においてはしっかりグリップするがわずかに冷静さを欠く。背面護送完全、奇襲へは集中して対処。遠距離においても作業をきちんとこなし監視も良い、禁足から防御も悠然とながら防衛犬の資質ならびに長年の訓練の成果を顕示してわれわれみるものを喜ばせた。記して心より感謝と敬意を表したい。

ゼッケン
番号 21

評価

席次 21

称号

犬名		追求	服従	防衛	総合得点	
イスヴァルト フォム ケーニヒスアレー		69	88	58	215	
父	アクセル オブ ハウス アール エー	母	グレーテ フォム ケーニヒスアレー			
(繁)	久保木 直美	(所)	久保木 直美		(指)	望月 利彦

追求 意欲的にスタートし、第1物品手前で若干臭気線を外したが第2コースまではほぼ良好な作業を見せる。第2コーナーで大きく迷走し、以降から作業が非常に粗くなり、集中力が持続せず、指導手の助けで何とか完遂した。物品の指示は概ね明確。

服従 <脚側行進・行進中の待座、伏臥、立止>脚側行進は意欲的ながらも反転ターンは若干大きくなり、群衆内においても集中力欠け指導手との密着性は一息であった。伏臥はやや集中力欠ける場面が見受けられるも、待座・立止動作は指示に対する反応が良好で招呼はスピード感があり正面停座から終了基本姿勢は確実であった。<持来・障碍・斜壁>ダンベル持来は往復路共にスピード感があり確実な作業であった。障碍・斜壁においても確実な作業であった。<前進・伏臥>作業意欲旺盛でスピード感があり、指導手の指示に対する反応も機敏で良好だったが、指導手が近づくと冷静さを欠いてしまったのが惜まれる。<休止>後半逸走。

防衛 高度な訓練性能を誇る犬。パトロール完全、禁足咆哮では支配的ではあるが注意深さを欠いた。58 追捕申し分なく禁足から防御に於いても質の高い咬みを見せるが、監視の際にヘルパーに絡んだ。背面護送は完璧だったが、奇襲への対処後、冷静さを欠き、その影響が遠距離攻撃以降の作業に尾を引き続けてしまい、閃きが各所に見られたが期待されたフルスイングの防衛作業が見られなかったのは残念であった。

ゼッケン
番号 32

評価

席次 22

称号

犬名		追求	服従	防衛	総合得点	
ヴァルド オブ S . ウイスタリア		79	65	70	214	
父	ウンカール フォム カップ アルコナ	母	キティー フォム エーヴィヒ ヴイント			
(繁)	藤井 聡	(所)	山田 勇治		(指)	高橋 義裕

追求 慎重にスタートし、第2コースまでは第1物品の指示が逆であった以外は良好な作業だった。79 しかしながら第2コーナーから大きく臭気線を外して進み、最終コースでようやく戻り、完遂した。第2、3物品は指示するも啜える。指示の明確性はさらに求めたい。

服従 <脚側行進・行進中の待座、伏臥、立止>脚側行進は終始指導手と離れ気味となり密着性は一息で、発砲時にやや集中力欠く場面が見られた。意欲及び表現力は更に望まれる。待座を促す際、指導手はやや歩度を緩めての指示となり、伏臥は停座となる。全般的に招呼における機敏さ及び正面停座から終了基本姿勢における流れの確実性を求める。<持来・障碍・斜壁>ダンベル持来は復路スピード感欠き、障碍は往路接触が見受けられ復路は未実施となる。斜壁は未実施となってしまったのは惜まれる。<前進・伏臥>前進における意欲及びスピード感は一息であるも、指導手の指示に対する反応は良好であった。<休止>完全。

防衛 指導手と調和のとれた円熟の訓練犬。パトロールさらに集中を。禁足はよい、咆哮はもう少し連続性が欲しい。追捕課題をこなす。禁足から防御は年齢からは考えられない意欲が迸った。背面護送は完全、奇襲へも悠々と対応した。遠距離では躊躇なく飛び込んで咬んだ、監視も注意深く行なった。禁足から防御においてもそつなく作業を遂行し並列護送まで完遂した。高齢ではあるが犬と指導手の作業の喜びが随所に見え、心より感謝と敬意を表する。

ゼッケン
番号 2

評価

席次 23

称号

犬名	追求	服従	防衛	総合得点
ボースコ デッラ ヴェルジオーネ スポルティーヴァ	68	55	84	207
父 ネルツ フォン ヨコハマ シゲリ	母 グナ フォン ヨコハマ シゲリ			
(繁) 芳村 深雪	(所) 小山 正春	(指) 安達 富三		

追求 この日は、スタート直後に立ち止まり、第1コース度々臭気線を外した。第1物品未発見。
68 以後持ち直したが、第2物品も未発見。第3コーナーから第4コースでは2回大きく迷走し、中止寸前だったが指導手の助けなく自力で完遂。諦めない粘り強さは評価される。

服従 <脚側行進・行進中の待座、伏臥、立止>脚側行進は意欲的ながらもやや指導手を押し気味
55 傾向であり、後半においても集中力欠け指導手との密着性は一息であった。待座は指導手の指示に対し迅速に反応する。伏臥は停座となり、立止はやや落ち着きに欠ける。正面停座から終了基本姿勢の確実性は更に求めたい。<持来・障碍・斜壁>ダンベル持来は啞え上げがスムーズ性に欠け、ダンベル保持はもう少し強くあることが望ましい。障碍・斜壁共に未実施となってしまったのは惜まれる。<前進・伏臥>前進におけるスピード感は一息であるも、指導手の指示に対する反応は機敏だった。<休止>指示前に停座。

防衛 パトロールはより素早く。禁足の位置と圧力はよい。追捕と禁足から防御、咬みは非常によ
84 いがはなす際は直ちにそして明確に。背面護送とそこからの奇襲においてわずかに集中を欠いた。遠距離攻撃の際の待機は非常に落ち着いていて良かった、咬みは良い、もう少し直接的に素早く咬むとなお良い。禁足から防御の際の咬みが強さと安定感を欠いたのは残念。

ゼッケン
番号 16

評価

席次 24

称号

犬名	追求	服従	防衛	総合得点
イレックス オブ S・ウイスタリア	90	71	40	201
父 アンディー オブ S・ウイスタリア	母 キティー フォム エーヴィヒ ヴイント			
(繁) 藤井 聡	(所) 藤井 聡	(指) 久野 友嗣		

追求 意欲的にスタートし、全体的にコース上での作業態度は鼻使いも良く極めて良好であった。
90 第1コーナーはショートカット。第2コーナーはやや臭気線を外し迷った。第3、4コーナーでも若干不安定。コーナーの確実性と物品指示の明確性が加わるとさらに良い。

服従 <脚側行進・行進中の待座、伏臥、立止>脚側行進は意欲的ながらも反転ターンはやや大き
71 くなり、群衆内では指導手との密着性は一息であった。待座・伏臥は共に立止となる。立止招呼におけるスピード感はあるが正面停座から終了基本姿勢における明確さは更に求める。<持来・障碍・斜壁>意欲的な作業であったがダンベル保持甘く、落とす場面見受けられた。ダンベル受け渡しから終了基本姿勢における明確さ、確実性は更に求めたい。<前進・伏臥>意欲的で方向性は良好な作業であるも、伏臥の指示に対する反応はやや遅く重複声符となった。<休止>完全。

防衛 才能ある犬だがコンディションが悪かった。パトロール、禁足咆哮ともに集中を欠いた。追
40 捕で意欲を見せるがエネルギー欲しい。禁足から防御は落ち着いて作業をした。背面護送はヘルパーに集中し位置も適正であった。奇襲へも正確に対処する、しかしはなす際はより素早く明確にしたい。残念ながら当日は集中が切れここで作業を終えた。

ゼッケン
番号 10

評価

席次 25

称号

犬名		追求	服従	防衛	総合得点	
アーネスト オブ フォン ヴェリテ		17	82	94	193	
父	カイ オブ フォン ヴェリテ	母	ディアナ フォン クライネス タール			
(繁)	奥山 諒	(所)	原 栄治		(指)	安達 健

追求 この日はスタート直後から大変不安定な作業になった。臭気線が取れずに不安をかかえながら
17
らも指導手の励ましで何とか第1物品は発見したが、以降も迷走が続き、作業意欲の喪失が見られたため、第1コーナーで中止となった。

服従 <脚側行進・行進中の待座、伏臥、立止>脚側行進では指導手を押し気味傾向でやや集中力
82
欠く作業となり、密着性は一息であった。待座・伏臥動作共に指示に対する反応はやや遅く、立止は指示後やや動きが見られた。招呼におけるスピード感も良好であるも正面停座から終了基本姿勢における明確さは更に求める。<持来・障碍・斜壁>ダンベル持来・障碍は意欲旺盛にして確実な作業であった。正面停座から終了基本姿勢における明確さは更に求めたい。<前進・伏臥>前進におけるスピード感及び方向性良好も伏臥指示に対しての反応はやや遅い。<休止>完全。

防衛 ひたむきに作業する犬。パトロール良し、禁足咆哮は位置は良いが咆哮に連続性を欠き、ヘルパーに触れた。追捕はもう少し深く咬みたい、禁足から防御は咬みは良い、はなすときより躊躇なくはなしたい。背面護送の集中は良い、奇襲に際しても力強く制圧。遠距離、待機地点で落ち着きが欲しい、咬みはエネルギー。禁足から防御においても質の高い作業。一部にわずかにムラはあるものの高度に訓練された緊密な防衛犬である。

ゼッケン
番号 14

評価

席次 26

称号

犬名		追求	服従	防衛	総合得点	
レアデル フォム ハウス ティー モチ		79	85	10	174	
父	ダンガー アウス デア ケーニヒスホーレ	母	ギッティ フォム ハウス ティー モチ			
(繁)	望月 利彦	(所)	望月 利彦		(指)	望月 利彦

追求 意欲的にスタートするも、この日は第1コース上で大きく迷走し、指導手の声符も重なる。
79
第1物品発見後は落ち着きを取り戻し、以後のコース上は良好な作業となった。コーナーの確実性はさらに求めたい。第2物品未発見。

服従 <脚側行進・行進中の待座、伏臥、立止>脚側行進は作業意欲旺盛ながらも反転ターンはや
85
や大きくなり、指導手との密着性は一息で停座における尻落ちも遅めであった。待座・伏臥及び立止は指示に対して迅速に反応し確実である。正面停座から終了基本姿勢における明確さは更に求めたい。<持来・障碍・斜壁>意欲旺盛にしてスピード感あるも、正面停座から終了基本姿勢における流れの確実性を求める。<前進・伏臥>前進は直線的でスピード感あり、伏臥指示に対しての反応も良好。<休止>完全。

防衛 意欲的かつスピード感ある完璧なパトロールで期待が高まったが残念ながらヘルパーを見放
10
した。

短評・牝組

ゼッケン 番号 34	評価 SG	席次 1	称号 訓練ジューゲリン	
犬名	追求	服従	防衛	総合得点
ページオブ G.T.R	97	89	96	282
父 アーロン オブ スノー ガーデン	母 ミア オブ G.T.R			
(繁) 島田 薫	(所) 長澤 拓真	(指) 長澤 拓真		

追求 慎重かつ自信に満ちた態度で作業を開始した。鼻使い深く、歩度も安定し、模範的な追求姿
97 勢を見せる。第1、第2、第5コース上で若干臭気線を外す仕草が見られたが、各コーナーは問題なし。物品の指示はあと僅か明確さがあればさらに良い。

服従 <脚側行進・行進中の待座、伏臥、立止>集中力あり、指導手との位置関係も良く、終始活
89 力に満ちた脚側行進であった。待座は立止となってしまったのは惜まれるが、伏臥・立止動作は機敏に反応し、スピード感に溢れた招呼であった。正面停座から終了基本姿勢における流れは安定感があって良好。<持来・障碍・斜壁>作業意欲旺盛ながらも障碍復路は未実施となる。正面停座から終了基本姿勢における流れの確実性は更に求める。ダンベル保持は力強く、良好であった。<前進・伏臥>前進意欲旺盛にして直線的でスピード感があるも、指導手の伏臥指示に対する反応は更に明確であると良い。<休止>完全。

防衛 高い完成度の訓練犬。パトロールさらに小回りに。禁足咆哮ほぼ完全、追捕非常に良い、は
96 なす際はもう少しだけ早く。禁足から防御申し分ない、背面護送完璧、奇襲への対応も速やかかつ監視正確。遠距離攻撃では咬み直しがあつた。禁足から防御咬みは良い、監視のさいわずかに冷静を欠いた。全体的な作業の集中力と正確さ、細部にまで行き届いた仕上がり、指導手の無駄なき動作いずれをとっても本年防衛最高得点そしてジューゲリンにふさわしい。

ゼッケン 番号 3	評価 SG	席次 2	称号 ジューゲリン Gr	
犬名	追求	服従	防衛	総合得点
ツール フォン トーソーエン	93	90	91	274
父 アクセル オブ ハウス アール エー	母 ヨーラ フォン トーソーエン			
(繁) 鈴木 操	(所) 沼 愛子	(指) 安達 健		

追求 慎重にスタートし、第1、第2、第3コースは僅かに不安定さがみられたものの、ほぼ良好な
93 作業だった。第1コーナーでやや不安な様子が見られたが、以後のコーナーは明確。第4コースでは若干の鼻上げがあつた。物品指示はさらに明確さが欲しい。

服従 <脚側行進・行進中の待座、伏臥、立止>脚側行進は作業意欲旺盛ながらもやや犬が前に出
90 る場面が見られ、反転ターンも大きくなる。待座指示に対して迅速に反応し確実であるも、伏臥・立止動作は指示に対し明確さを求める。招呼はスピード感に溢れるも、正面停座から終了基本姿勢における流れは確実だと更に良い。<持来・障碍・斜壁>ダンベル持来は意欲的で安定感のある作業であるも、復路スピードやや遅い。障碍は復路飛越時に若干接触が見られるも、斜壁は確実にクリアする。全般にもう少しエネルギー的な作業だと良い。<前進・伏臥>前進意欲旺盛にして直線的でスピード感があり、指導手の伏臥指示に対する反応も機敏で良好だった。<休止>完全。

防衛 非常に高い質の犬。パトロール問題なし。禁足の際に咆哮が出ず。追捕は素早く力強く、禁
91 足から防御も同様だがわずかに浅い咬み。背面護送は集中し、奇襲に対しても素早く力強く制圧。遠距離攻撃に際しては適切に対応するもわずかに浅い。禁足から防御は硬く深い咬みでクオリティに申し分ない。監視の際に若干集中が乱れた。指導手の態度無駄なく犬と良く調和がとれていた。

ゼッケン
番号 13

評価 G

席次 3

称号 Rジージェリン Gr

犬名	追求	服従	防衛	総合得点
ディアーナ デッラ ヴェルジオーネ スポルティーヴァ	89	88	76	253
父 カイ フォン ヨコハマ シゲリ	母 グナ フォン ヨコハマ シゲリ			
(繁) 芳村 深雪	(所) 松本 智子	(指) 安達 富三		

追求 意欲的にスタートし、第1コーナーで僅かに逡巡したものの第3コーナーまではほぼ完璧な
89 作業であった。第3コーナー手前からやや不安定になり、コーナーで大きく蛇行するが、自力でコースに戻り、以後はほぼミス無く完遂した。物品の指示は非常に明確であった。

服従 <脚側行進・行進中の待座、伏臥、立止>脚側行進は意欲的ながらもやや犬が前に出る傾向
88 が見受けられた。待座指示に対して迅速に反応し確実である。伏臥動作は指示に対しても少し明確さを求める。立止指示に対して迅速に反応し、招呼はスピード感に溢れ、正面停座から終了基本姿勢における流れは安定感があって良好。<持来・障碍・斜壁>ダンベル持来はやや集中力欠く作業だった。障碍復路飛越時に若干接触が見られるも、斜壁は確実にクリアする。<前進・伏臥>前進におけるスピード感及び方向性良好も伏臥指示に対しての反応は遅い。<休止>完全。

防衛 才能溢れる犬。パトロールはもう少し集中を。禁足の位置は最初やや遠かったが自身で修正。
76 追捕、意欲は見せるがより効果的に捉えたい。禁足から防御においてもより力強さを見せられるように思う。背面護送は集中し奇襲には果敢に立ち向かう。遠距離、意欲的に制圧するがより素早く咬む様を見たい。禁足から防御に於いては力強く咬んだが、いずれも余分な声符を必要とした。監視は集中していた。

ゼッケン
番号 27

評価 G

席次 4

称号 Rジージェリン Gr

犬名	追求	服従	防衛	総合得点
ヨーニ フォン クシラ ムラカミ	90	83	79	252
父 フィーゴ デュ トライアングル マジック	母 スー フォン クシラ ムラカミ			
(繁) 村上 和喜	(所) 山田 泰生	(指) 山田 三郎		

追求 意欲的にスタートし、以後のコース上はほぼ良好な追求だった。第1コーナーでやや逡巡し、
90 第2、第3コーナーでは若干鼻が上がり、不安定な作業となった。物品の指示は素早く明確で良好。コーナーの確実性が増せばさらに良くなるものと思う。

服従 <脚側行進・行進中の待座、伏臥、立止>脚側行進は意欲的ながらも反転ターンにおけるスム
83 ズ性が一息で、群衆内においては集中力欠く場面が見受けられた。待座・伏臥指示に対してやや遅く、立止は指示後やや動く場面が見られるも、招呼においてスピード感あり、正面停座から終了基本姿勢における流れは安定感があって良好。<持来・障碍・斜壁>全般にダンベル保持甘く、復路はスピード感が一息であった。ダンベル保持における力強さ及び正面停座から終了基本姿勢における明確さは更に望まれる。<前進・伏臥>前進におけるスピード感一息であるも伏臥は指示に対し迅速に反応し良好。<休止>完全。

防衛 作業意欲に溢れる犬。パトロール途中で躊躇があった。禁足咆哮は連続性が欲しい、またも
79 う少し注意深く。追捕は速やかだがもう少し深く捉えたい。禁則から防御では咬みは強く深く、しかしながら監視はより注意深く。背面護送もう少し集中したい、奇襲は機敏に反応して捉える、若干浅い。側面護送は大変集中していた。遠距離は集中して捉えた、はなす際はもう少し明確に。禁足から防御、咬みはよい、はなす際はより明確に。背面護送は非常によい。

ゼッケン
番号 4

評価 G

席次 5

称号 Rジージェリン Gr

犬名	追求	服従	防衛	総合得点
オレンジ オブ G.T.R	70	80	93	243
父 カイ フォン ヨコハマ シゲリ	母 マイト オブ G.T.R			
(繁) 島田 薫	(所) 松本 智子	(指) 安達 富三		

追求 慎重に作業を開始するもこの日はスタート直後から不安定な作業になった。第2、第3コーナー
70 で臭気線を失い、大きく迷った。しかしながら何とか自力でコースに復帰し、完遂した意欲は褒められる。第2物品未発見。物品指示の位置はさらに確実性を求めたい。

服従 <脚側行進・行進中の待座、伏臥、立止>脚側行進はやや指導手を押し気味傾向に見られ、
80 群衆内では指導手との密着性が一息であった。待座指示に対して迅速に反応し確実である。伏臥は指示に対しやや遅かったが、立止は指示に対して機敏に反応し、招呼はスピード感に溢れた作業だった。正面停座から終了基本姿勢における流れは確実性求める。<持来・障碍・斜壁>全般的に作業に対する機敏さが求められる。障碍は往路飛越時に若干接触が見られ、斜壁は復路未実施となる。<前進・伏臥>前進意欲旺盛にして直線的でスピード感があり、指導手の伏臥指示に対する反応も機敏で良好だった。<休止>やや落ち着きに欠ける。

防衛 作業意欲に溢れる機敏な犬。パトロール1ヶ所躊躇。禁足咆哮はお手本のよう。追捕も十分
93 な迫力を有する。禁足から防御においてはわずかに咬み直しもあるも集中していた。背面護送から奇襲も深く強く咬んで制した。遠距離攻撃も禁足から防御も集中しており力強い作業。ただしはなすときはより速やかにはなしたい。また監視の際にしばしば咬む仕草を見せるのが気になった。

ゼッケン
番号 38

評価

席次 6

称号

犬名	追求	服従	防衛	総合得点
アンマー フォン デア ヴァンダーファルケン	87	70	60	217
父 ジーニー フォム ハウス エム ワン	母 ウテナ フォン デア ヴァンダーファルケン			
(繁) 山本 利三	(所) 大野 利恵子	(指) 南 友雄		

追求 慎重にスタートし、第2コーナーまでは非常に良好な作業であった。第2コーナーで大きく
87 迷い、第3コース前半もやや不安定。第3コーナーも同じく逡巡し、以後は持ち直したが最終コーナーから先は若干粗い作業となった、物品の指示及び再スタートは明確で良い。

服従 <脚側行進・行進中の待座、伏臥、立止>脚側行進は指導手より前に出る場面が見られ安定
70 感は一息であった。また発砲時及び群衆内においての集中力は更に求めたい。待座・伏臥を促す際、指導手はやや歩度を緩めての指示となり立止では指示後若干動きが見られる。終了基本姿勢における確実性は更に求めたい。<持来・障碍・斜壁>作業意欲旺盛であるも待機状態はやや冷静さ欠く。正面停座から終了基本姿勢における明確さは更に望まれる。<前進・伏臥>前進意欲的でスピード感があるも、指導手の伏臥指示に対する反応は一息であった。<休止>完全。

防衛 エネルギッシュな若い訓練犬。パトロール、禁足咆哮ではなかなか作業に入りきれず。追捕
60 はもう少し意欲の表現が欲しい。禁足から防御は効果的に強く咬む、監視はもう少し注意深く。背面護送はやや前に出過ぎ、奇襲への対応は最初浅く入るが自身で深く捉え直す。監視態度は非常に良い。遠距離攻撃には果敢に対応、深く強く咬む、はなす際に余分な声符があった。禁足から防御、直ちに効果的に咬んだ、はなす際はもう少し早く。全体に指導手を気にしすぎている様子が散見された。

ゼッケン
番号 31

評価

席次 7

称号

犬名		追求	服従	防衛	総合得点	
ユリア フォム ハウス カウチ		87	88	27	202	
父	アレス フォン シュロス ライテン	母	クローネ フォム ハウス カウチ			
(繁)	内田 巧	(所)	村上 龍之助		(指)	藤田 智奈

追求 意欲的にスタートし、第2コースまでは時おりやや臭気線を外すものの概ね良好な作業であった。
87 第2コーナーより集中が若干途切れ、鼻が浮き気味になった。第3コーナーでは迷走し自力で戻ったが、その後もやや粗い作業となった。物品の指示は明確で良好。

服従 <脚側行進・行進中の待座、伏臥、立止>脚側行進は作業意欲旺盛ながらも反転ターンはやや大きくなり、指導手との密着性は一息で停座における尻落ちも遅めであった。待座・伏臥・立止動作は指示に対しての反応良好で、招呼はスピード感あって良好な作業であった。<持来・障碍・斜壁>全般にダンベル保持甘く、正面停座から終了基本姿勢における明確さは更に望まれる。<前進・伏臥>前進におけるスピード感一息で、指導手の伏臥指示に対する反応も遅い。<休止>完全。

防衛 パトロールは意欲的かつスピーディ。禁足咆哮、より支配的であるとなお良い、集中わずかに途切れる。追捕の際集中力が途切れてしまい残念だった。次回に期待したい。

ゼッケン
番号 18

評価

席次 8

称号

犬名		追求	服従	防衛	総合得点	
テージ フォン デア フェルシュタントハイム		43	72	79	194	
父	ゲルト フォム ハウス エム ワン	母	グータ フォン デア フェルシュタントハイム			
(繁)	堀内 壽子	(所)	堀内 壽子		(指)	阿利 直也

追求 意欲的にスタートしたが、この日は直後より不安定な作業であった。第2コーナーからは集
43 中力が途切れ、粗い作業となり、第4コース上は大きく迷走する。指導手が声符をかけるも臭気線を発見出来ず、中止となった。物品の指示は明確であった。

服従 <脚側行進・行進中の待座、伏臥、立止>脚側行進は飛び跳ねる場面が見られ、反転ターンも大きくなる。待座は尻落ち遅めで、伏臥指示後はやや動きが見られた。立止指示に対して機敏に反応し招呼はスピード感に溢れ良好。正面停座から終了基本姿勢における流れは確実性求める。<持来・障碍・斜壁>ダンベル持来は啜え上げ躊躇し落とす場面が見受けられ、障碍復路、斜壁往路未実施となる。ダンベル保持における力強さは更に求める。<前進・伏臥>前進意欲旺盛にして直線的でスピード感があるも、指導手の伏臥指示に対する反応は明確さを求める。<休止>途中停座になるも伏せ直す。

防衛 才能のひらめきを感じさせる犬。パトロールわずかに速度が落ちた。禁足咆哮適正、わずかに注意がそれる。追捕、意欲は何えるが咬み直しあり。禁則から防御では作業は遂行するものはなした後冷静さを欠いた。背面護送は完璧、奇襲には速やかに対応、よりグリップは硬くありたい。遠距離のナイキ状態はより落ち着きが欲しい。遠距離攻撃へは激しく対応、咬みの質は更なる向上が期待される。禁足から防御に於いては素早く掴んだがはなす際はより直ちに。

ゼッケン
番号 7

評価

席次 9

称号

犬名		追求	服従	防衛	総合得点	
デア デッラ ヴェルジオーネ スポルティーヴァ		35	68	87	190	
父	カイ フォン ヨコハマ シゲリ	母	グナ フォン ヨコハマ シゲリ			
(繁)	芳村 深雪	(所)	山口 さつき		(指)	安達 健

追求 慎重かつ意欲的にスタートし、第1コース上は物品の位置が犬体の横であった事、指導手の
35 声符があった以外は良好な作業態度であった。第1コーナーでやや逡巡したのち、歩度が早くなり第2コーナーを逸脱、中止となった。

服従 <脚側行進・行進中の待座、伏臥、立止>意欲的で集中力あり、やや指導手を押し気味の脚
68 側行進となるも位置関係良好な作業であった。待座指示に対して迅速に反応し確実である。伏臥動作はやや尻が浮き気味で、立止は伏臥となってしまったのは惜まれるも招呼はスピード感に溢れ良好。<持来・障碍・斜壁>ダンベル持来はやや待機状態集中力欠く場面が見受けられ、障碍は往路飛越時に接触する。斜壁は確実にクリアするも正面停座から終了基本姿勢における確実性は更に求めたい。<前進・伏臥>直線的でスピード感があるも、指導手の元に犬が戻ってしまったのは惜まれる。<休止>序盤に停座となるもすぐに伏せ直す。

防衛 防衛本能溢れる犬。パトロール完璧、禁足咆哮はもう少し近くそしてより支配的でありたい。
87 追捕はエネルギーを有するがより深く咬みたい。禁足から防御、直ちに深く強く咬む。監視はもう少し注意深く。背面護送はヘルパーへのさらなる集中を。背面護送から奇襲は力強くアグレッシブに制圧している。遠距離はしっかり咬みに行くがもう少し深く咬みたい。禁足から防御についても同様。側面護送の際ヘルパーに集中すればなおよい。

ゼッケン
番号 15

評価

席次 10

称号

犬名		追求	服従	防衛	総合得点	
アモーレミオ フォム ハウス ママ		10	87	84	181	
父	ダンガー アウス デア ケーニヒスホーレ	母	カラット フォン ナガノ テンリユ			
(繁)	葛野 あつ子	(所)	葛野 あつ子		(指)	葛野 あつ子

追求 慎重にスタートしたが、この日は直後より非常に不安定な作業であった。指導手の声符もあり、
10 第1物品は発見し、その後は持ち直すかに思えたが、第1コーナーから逆走し、作業意欲の喪失が見られたため中止となった。

服従 <脚側行進・行進中の待座、伏臥、立止>脚側行進は意欲的ながらも反転ターンは若干大き
87 くなる。待座動作は指示に対してより明確さを求める。伏臥・立止動作は指示に対して機敏に反応し、招呼はスピード感に溢れ良好な作業だった。<持来・障碍・斜壁>全般にダンベル保持甘く、正面停座から終了基本姿勢における明確さは更に望まれる。<前進・伏臥>前進意欲旺盛にして直線的でスピード感があるも、指導手の伏臥指示に対する反応は一息であった。<休止>完全。

防衛 自信と迫力ある犬。パトロールは集中を欠いたが、禁足咆哮では持ち直し支配的だった。咬
84 みはエネルギーで力強い、わずかに咬み直しがあつた。はなすときはもう少し早く。禁足から防御は集中していた。背面護送完璧、奇襲にも素早く対処、わずかに咬み直しがあつた遠距離攻撃に際してはより速やかに飛び込むとなおよかった。監視でやや集中を欠いた。禁足から防御では力強く押さえ込んだが監視後冷静さを欠く場面が見られた。

ゼッケン
番号 22

評価

席次 11

称号

犬名		追求	服従	防衛	総合得点	
アンフォームハウスママ		10	87	81	178	
父	ダンガー アウス デア ケーニヒスホーレ	母	カラット フォン ナガノ テンリユ			
(繁)	葛野 あつ子	(所)	葛野 あつ子		(指)	葛野 あつ子

追求 スタート直後より不安定な作業となった。前席の犬と同じく、指導手の声符もあり、第1物
10 品は発見し、その後の持ち直しを期待したが、第1コーナーで逆走し、作業意欲の喪失が見られたため中止となった。付記：シーズン犬。

服従 <脚側行進・行進中の待座、伏臥、立止>意欲的で集中力あり、やや指導手を押し気味の脚
87 側行進となるも位置関係良好な作業であった。待座指示に対してやや遅く重複声符となる。伏臥は指示に対しやや遅く、立止指示後やや動きが見られた。招呼はスピード感に溢れ良好な作業だった。<持来・障碍・斜壁>障碍では往復路若干接触が見られるも、意欲旺盛にして確実な作業であった。正面停座から終了基本姿勢における明確さは更に望まれる。<前進・伏臥>前進意欲旺盛にして直線的でスピード感があるも、指導手の伏臥指示に対する反応は遅く重複声符となる。<休止>完全。

防衛 充実の訓練犬。パトロールわずかに速度にムラがあった。禁足咆哮若干集中が切れヘルパー
81 に絡んだ。追捕は申し分なくエネルギーがはなす際はより明確に。禁足から防衛も咬みは良いが監視の際にややしつこくヘルパーに絡んだ。背面護送は完全、奇襲への対応は深く強い咬みで非常に良いが監視の際に集中が乱れた。遠距離への対応は力強くエネルギーがはなす際はより明確に。禁足から防衛に於いても咬みは良いがヘルパーに絡んだ。

ゼッケン
番号 9

評価

席次 12

称号

犬名		追求	服従	防衛	総合得点	
カーボ デラ ヴェルジオーネ スポルティーヴァ		40	55	81	176	
父	バルド オブ スピリット トム	母	ヤッキー フォン ヨコハマ シゲリ			
(繁)	芳村 深雪	(所)	芳村 深雪		(指)	芳村 深雪

追求 意欲的にスタートし、第1コース上は、物品指示以外概ね良好な作業だった。第1コーナー
40 で大きく迷走し、以後鼻が浮き気味となり、全体的に粗い作業となった。第2物品発見後も集中力を欠いた作業となり、最終コース上で逸脱、中止となった。

服従 <脚側行進・行進中の待座、伏臥、立止>脚側行進は指導手をやや押し気味で安定感は一息
55 であった。また発砲時及び群衆内における集中力は更に求めたい。待座指示後やや動きが見られるも伏臥・立止では指示に対して機敏に反応し、招呼はスピード感に溢れ良好な作業だった。正面停座から終了基本姿勢における明確さは更に望まれる。<持来・障碍・斜壁>全般に作業意欲旺盛であるもやや落ち着きに欠け、ダンベル保持が甘い。<前進・伏臥>意欲旺盛であるも、指導手の伏臥指示に対する反応は遅く重複声符となる。<休止>序盤に停座となり途中伏せ直すも落ち着きに欠く。

防衛 機敏でひたむきな犬、スピード感あふれる良いパトロールからスタート。禁足咆哮もよく威圧
81 している。追捕は若干咬みが浅いが集中している、禁足から防衛もわずかに浅い、そしてはなすときはもう少し明確に。背面護送ではもう少しヘルパーに集中を、奇襲は非常によく制圧したが監視に集中を欠いた。遠距離では残念ながら集中が切れ力強さを欠く作業となった。各所でやや冷静さを欠く場面が見られたが、次回は序盤の集中力を作業全体を通じて見たい。

ゼッケン
番号 8

評価

席次 13

称号

犬名	追求	服従	防衛	総合得点
クヴァッペ オブ S・ウイスタリア	22	74	73	169
父 アンディー オブ S・ウイスタリア	母 ビシュラ フォム ザック			
(繁) 藤井 聡	(所) 安達 俊夫	(指) 北条 義了		

追求 慎重にスタートし、第1物品まではやや不安定さが見られたものの概ね良好な作業であった。

22 第1物品発見後の再スタートより歩度が順次早くなり、第2コース上は臭気線を大きく外したまま第2コーナーを逸脱、中止となった。

服従 <脚側行進・行進中の待座、伏臥、立止>脚側行進は終始やや集中力欠く作業であり、指導手との密着性は一息で、停座は遅めであった。待座指示に対してもう少し明確だと良い。伏臥は指示に対し反応は良好であったが、立止は停座となったのは惜まれる。招呼はスピード感に溢れ良好な作業だった。<持来・障害・斜壁>全般にダンベル啜え上げのスムーズ性が一息で保持甘く、障害では復路若干接触が見られる。正面停座から終了基本姿勢における明確さは更に望まれる。<前進・伏臥>前進意欲旺盛にして直線的でスピード感があり、指導手の伏臥指示に対する反応も機敏で良好だった。<休止>完全。

防衛 作業意欲と才能に恵まれた犬。パトロールは申し分なく、禁足咆哮はより支配的でありたい。

73 追捕の際の伏せは素早くてよい。咬みはよいが監視で集中を欠く。禁足から防御ではより力強さが求められる。監視不十分。背面から奇襲の際によりエネルギーがほしい。遠距離の咬みに際しても追捕の時とは異なりどこか自信なさげでもあった。ヘルパーへの集中力を高めてほしい。

ゼッケン
番号 39

評価

席次 14

称号

犬名	追求	服従	防衛	総合得点
アンナ オブ ブリッジ ストリーム	70	72	8	150
父 アマンシオ オブ ジェントル フィーリング	母 グロリア フォン クライネス タール			
(繁) 高橋 恵里子	(所) 高橋 恵里子	(指) 小木 曾 忍		

追求 意欲的にスタートし、非常にエネルギーが豊富な作業であった。第2コーナーまでは第1物品発見後の再スタート時、指示より先に犬が動いた以外概ね問題無し。第2コーナーでやや臭気線を外した後、若干鼻が浮く。そのまま完遂するかと思わせたが、第4コーナーで逸脱、中止となった。

服従 <脚側行進・行進中の待座、伏臥、立止>脚側行進は終始やや集中力欠く作業であり、指導手との密着性は一息であった。待座は立止となったのは惜まれる。伏臥を促す際、指導手はやや歩度を緩めての指示となり立止では指示後若干動きが見られる。終了基本姿勢における確実性は更に求めたい。<持来・障害・斜壁>全般にダンベル保持甘く、障害では往路若干接触が見られ、障害・斜壁復路未実施となってしまった。<前進・伏臥>前進意欲旺盛にして直線的でスピード感があるも、指導手の伏臥指示に対する反応はより明確さを求める。<休止>伏臥指示が重複となる。

防衛 パトロールの速度にムラがあり、その後集中が途切れた、犬の性能を拝見できず次回に期待したい。

犬名	追求	服従	防衛	総合得点
ディステルフォン アムレット ガルテン	69	50	0	119
父 ネプチューン オブ アウトサイダー	母 ダコタ オブ アウトサイダー			
(繁) 小佐野 恵司	(所) 岡村 京子		(指) 小佐野 恵司	

追求 意欲的にスタートし、第1コースは集中力が持続して良好な作業であった。第2コースより
69 歩度が早くなり、臭気線を辿らず、粗い作業だった。第2物品発見出来ず。まだ2才前の若い犬である。これからの鍛錬に大いに期待します。

服従 <脚側行進・行進中の待座、伏臥、立止>脚側行進は終始やや集中力欠く作業であり、指導
50 手との密着性は一息であった。待座は立止となったのは惜まれる。伏臥を促す際、指導手はやや歩度を緩めての指示となり立止では指示するも指導手のもとへ。作業に対する確実性は更に求めたい。<持来・障碍・斜壁>全般にダンベル保持甘く、障碍・斜壁往復路未実施となってしまう。<前進・伏臥>前進意欲旺盛にして直線的でスピード感があるも、指導手の伏臥指示に対する反応が遅く重複声符となる。<休止>完全。

防衛 スタート時から集中が途切れ犬の性能を拝見する事叶わず、捲土重来に期待したい。
0

2019年 第四回 日本臭気選別専科 訓練ジージャー競技会 成績

と き ● 令和元年 5月19日(日)

と ころ ● 長野県諏訪市郊外 霧ヶ峰高原

主 催 ● 公益社団法人 日本シェパード犬登録協会

会報『SHEPHERD』5-6月号に掲載致しました、選別専科の点数が間違っておりました。
所有者様、ならびに指導手、訓練所の皆様には多大なご不快とご迷惑をお掛け致しまして、誠に申し訳ございません。

席次	ゼッケン	犬名	所有者	指導手	点数
1	110	ベッツィー フォム ハウス T. サイトー	平本 敦子	松本 浩	100
2	104	ユリカ オブ フクイ シャイニング スター	平本 敦子	松本 浩	75
	100	(セント ラブ リング) グローリー ウォルフィ	佐々木 雅一	永吉 由美子	50
	102	ベルヴォア オブ マーヴェラス ディーヴァ	山口 さつき	山口 さつき	50
	108	アルティマ オブ トータス マウンテン	山口 さつき	山口 さつき	50
	109	ヘレン フォン ツヴァイブルッケン	安達 俊夫	北条 義了	50
	105	ヤッキー フォン ヨコハマシゲリ	芳村 深雪	芳村 深雪	25
	106	アリーア オブ サウス スター	山口正	安達健	25
	107	ザフィーア フォム ブラーヴェン ブラーク	木村茂	池上昇	25
	111	フォクト オブ ハマナ ガーデン	大角 美智子	安達 健	25
	103	バルナー オブ ハウス アール エー	山口正	安達健	0